履修要綱（修士）

1　修了の要件

本研究科博士前期課程を修了するためには、同課程に 4 セメスター以上在学し、30単位以上を修得して、学位論文を在学期間中に提出し、その審査および最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関して、在学期間中、特に優れた研究業績をあげた者は、大学院設置基準等に定める教育方法の特例（以下、特例と呼ぶ）によって、2 セメスターをもって課程を修了することもできる。この場合、当該学生は、強い研究意思と特に優れた能力を持ち、かつ、その修了に必要なすべての要件を満たす者でなければならない。

【国際開発専攻、国際医療協力専攻、グローバル・コミュニケーション専攻】

授　業　科　目		必要単位数	修了必要単位数
1	主科目（自専攻の授業科目）	14単位以上	30単位 以　上
2	論文指導Ⅰ （第 1 セメスターから履修する） （修士論文を提出し、審査に合格した場合のみ単位付与） ※ **論文指導Ⅰは、修士論文指導科目である。**	8 単位	
3	副科目（専攻を異にする授業科目） 指導教授に相談の上、履修可能	特に定めなし	
4	基礎科目 （第 1 セメスター・第 2 セメスターのみ履修可） ①アカデミック・ライティング ②アカデミック・ジャパニーズ ③統計学 ※ ①②…履修は日本語を母国語としない学生に限る。 ③……出身大学にて履修をしていない学生は履修することが望ましい。	特に定めなし	

2　授業科目及び担当教員

博士前期課程 国際開発専攻

専門分野に関する科目

専門分野	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
国際公共政策研究	国際政治論	春	2	渡辺　剛
	国際政治経済論	春	2	三浦　秀之
	比較政治学	秋	2	木暮健太郎
	比較行政学	春	2	進邦　徹夫
	現代アジア政治外交論	春	2	劉　迪
	国際関係論	春	2	島村　直幸
	近代比較政治史	秋	2	半田　英俊
	国際法	春	2	川村　真理
	国際金融論	秋	2	西　孝
	国際協力論	春	2	川村　真理
	国際開発論	秋	2	川村　真理 知原　信良 劉　迪 北島　勉 坂本ロビン
	環境経済学	春	2	斉藤　崇
	比較民法Ⅰ	春	2	休講
	比較民法Ⅱ	秋	2	北田　真理
	比較憲法論	秋	2	大西　健司
国際ビジネス研究	ビジネス・スタディーズ	春	2	糟谷　崇
	グローバル・イノベーション論	秋	2	糟谷　崇
	産業労働社会論	秋	2	未定
	マーケティング論	秋	2	加藤　拓
	国際会計論	春	2	内藤　高雄
	企業法	秋	2	伊藤　敦司
グローバル・スタディーズ	International Relations in the Asia-Pacific Region	秋	2	三浦　秀之
	Cross-cultural Leadership	春	2	坂本ロビン
	Politics & Social Policy	春	2	松井　孝太
	Global Citizenship	秋	2	坂本ロビン
	Learning and Pedagogy in International Education	春	2	マルコム・フィールド
	Technology & Education Development	秋	2	マルコム・フィールド

	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
専攻共通	アカデミック・ジャパニーズ	春	2	河路　由佳
	アカデミック・ライティング	秋	2	河路　由佳
	統計学	秋	2	小田　信之

• 上記 3 科目の履修は 1 年次のみ履修可能。
• アカデミック・ライティング、アカデミック・ジャパニーズの履修は日本語を母語としない学生に限る。

博士前期課程 国際医療協力専攻

専門分野に関する科目

専門分野	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
国際保健学研究	人類生態学	春	2	出嶋　靖志
	母子保健学	秋	2	佐々木裕子 藤田　千春
	国際疫学	秋	2	北島　　勉
	感染症・寄生虫学	春	2	蔵田　　訓
	薬理学総論	春	2	櫻井　裕之
	基礎医学論	春	2	大崎　敬子 花輪　智子
	疾病概論	春	2	苅田　香苗 吉田　正雄
国際医療福祉研究	医療社会学	秋	2	苅田　香苗 吉田　正雄
	医療経済学	春	2	北島　　勉
	観光保健論	春	2	小堀　貴亮
	高齢者福祉論	春	2	片桐　朝美
	国際社会保障論	秋	2	松井　孝太
	国際児童福祉論	秋	2	赤嶺　恵理
	社会福祉政策論	秋	2	岡村　　裕

	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
専攻共通	アカデミック・ジャパニーズ	春	2	河路　由佳
	アカデミック・ライティング	秋	2	河路　由佳
	統計学	秋	2	小田　信之

• 上記 3 科目の履修は 1 年次のみ履修可能。
• アカデミック・ライティング、アカデミック・ジャパニーズの履修は日本語を母語としない学生に限る。

博士前期課程 グローバル・コミュニケーション専攻

専門分野に関する科目

専門分野	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
日中通訳翻訳研究	日中通訳概論Ⅰ	春	2	宮首　弘子
	日中通訳概論Ⅱ	秋	2	
	日中翻訳概論Ⅰ	春	2	藤田由香利
	日中翻訳概論Ⅱ	秋	2	
	日中比較文化論Ⅰ	春	2	森　　和
	日中比較文化論Ⅱ	秋	2	
	日中逐次通訳論Ⅰ	春	2	醍醐美和子
	日中逐次通訳論Ⅱ	秋	2	
	日中同時通訳論Ⅰ	春	2	宮首　弘子
	日中同時通訳論Ⅱ	秋	2	
	通訳理論と技法論Ⅰ	春	2	醍醐美和子
	通訳理論と技法論Ⅱ	秋	2	
言語・教育研究	英語コミュニケーション論	春	2	イアン・ランバート
	言語文化論（英語分野）	秋	2	イアン・ランバート
	言語文化論（日本語分野）	春	2	河路　由佳
	比較文学論	秋	2	高木眞佐子
	英語文法論	秋	2	八木橋宏勇
	日本語文法論	春	2	荒川みどり
	応用言語学	春	2	倉林　秀男
	英語教育論	春	2	岩本　和良
	日本語語彙論	秋	2	鄭　　英淑
	日本語構造論	春	2	荒川みどり
	日本語教育論Ⅰ	春	2	荒川みどり
	日本語教育論Ⅱ	秋	2	荒川みどり
	音声学音韻論Ⅰ	春	2	嵐　　洋子
	音声学音韻論Ⅱ	秋	2	岩本　和良
	言語学	春	2	八木橋宏勇

博士前期課程　基礎科目

専門分野に関する科目

	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
専攻共通	アカデミック・ジャパニーズ	春	2	河路　由佳
	アカデミック・ライティング	秋	2	河路　由佳
	統計学	秋	2	小田　信之

• 上記 3 科目の履修は 1 年次のみ履修可能。
• アカデミック・ライティング、アカデミック・ジャパニーズの履修は日本語を母語としない学生に限る。

博士論文指導科目

専門分野	2024 年度の授業担当者			
	授　業　科　目	開講	単位数	教員名
専攻共通	論文指導Ⅰ	通年	8	嵐　洋子
	論文指導Ⅱ－1		2	岡村　裕
	論文指導Ⅱ－2		2	小田　信之
	論文指導Ⅲ－1 (海外、企業等実習)		2	糟谷　崇
	論文指導Ⅲ－2 (海外、企業等実習)		2	川村　真理
				河路　由佳
				北島　勉
				北田　真理
				木暮健太郎
				小堀　貴亮
				斉藤　崇
				坂本ロビン
				進邦　徹夫
				鄭　英淑
				出嶋　靖志
				内藤　高雄
				西　孝
				西山　桂子
				原田奈々子
				半田　英俊
				古本　泰之※
				マルコム・フィールド
				宮首　弘子
				森　和
				八木橋宏勇
				梁井　久江
				劉　迪
				渡辺　剛

• 論文指導Ⅰ
　指導教授の科目： 2 年間の連続履修とする。
• 論文指導Ⅱ
　指導教授以外の論文指導を受ける場合の科目：履修を希望する場合は指導教授の指導と助言により履修することができる。
※論文指導Ⅱのみ

3　授業に関すること

巻頭の授業予定を確認のこと。

(1) 休講

学校行事が行われたり、各授業科目担当者にやむを得ない事情が発生した場合に、授業を休講することがある。

Web上での確認　UNIVERSAL PASSPORT（以下、ユニパ）でも休講情報を確認することができる。

アクセス方法　大学ホームページ（http://www.kyorin-u.ac.jp/）の在学生ページよりリンク

休講日

9月25日（水）、10月25日（金）、10月26日（土）、10月28日（月）

(2) 振り替え授業

ふだんとは異なる曜日に授業を行うことがある。これを振り替え授業という。

(3) 補講

休講により、授業の進行が予定より遅れた際に、臨時の授業を行うことがある。これを補講という。

補講は、原則として補講期間の間に行う。

補講日

春学期（前期）：5月18日（土）午後（3時限より）、6月29日（土）午後（3時限より）
7月6日（土）午後（3時限より）、7月24日（水）終日、7月25日（木）終日

秋学期（後期）：11月30日（土）午後（3時限より）、12月21日（土）午後（3時限より）
12月28日（土）終日、1月4日（土）終日、1月14日（火）終日
1月15日（水）終日

(4) 休日授業日

単位修得に必要な授業時間を確保するために、下記の日程は授業を行います。

春　学　期	5月6日（月）〈こどもの日：振替日〉 7月15日（月）〈海の日〉
秋　学　期	9月23日（月）〈秋分の日：振替日〉 10月14日（月）〈スポーツの日〉 11月4日（月）〈文化の日：振替日〉 11月11日（月）〈創立記念日〉

(5) 1日に2回分の授業を実施します。

7月20日（土）、11月16日（土）、12月14日（土）

(6) 教室変更

授業の教室が変更になった場合は、ユニパでメール配信も行う。

4　履修計画

本研究科では、国際開発専攻、国際医療協力専攻、グローバル・コミュニケーション専攻に関する専門家・研究者を養成するために第１セメスターから担当教員（以下、指導教授）の指導により、修士論文作成指導を行っている。（これを重視するために、８単位という単位数をあてている。）指導教授の指導により、自己の目的に対応した履修計画を立て、体系的な履修を行うべきである。

(1) 履修の概要

第１セメスターから第４セメスターまでの通常の履修方法の概要を示すと次の通りである。

第１セメスター開始時	論文指導の指導教授の決定をする。 指導教授と相談の上、履修計画書※1を提出する。 履修申告※2・登録（以後、各セメスター開始時に必ず行われなければならない）を行う。
第１・第２セメスターの履修	10科目（20単位）以上取得（基礎的な研究、ツールとしての理論、原理の修得に努めねばならない）することが望ましい。
第３・第４セメスターの履修	５科目（10単位）以上取得することが望ましい（ただし、第４セメスターでは論文指導のみを履修し、論文作成の準備をすべきである）。
第４セメスター開始時	修士論文の提出

※１・※２は巻末のものを使用すること。

大学院学生は、事例に関する具体的なテーマを持ち、学問的なアプローチをもって講義を履修し、基礎的な科目を含め、国際協力にかかわる普遍的な原理、原則、方法論等を学ぶとともに、論文指導において指導教授があらかじめ準備したプログラムに基づいて履修を行うこととする。

論文指導において、大学院学生は、自らの目的に沿って指導教授から必要な指導を受けつつ資料の収集・分析を行い、その成果に対する評価を受ける。

通常の４セメスター履修の場合

第１セメスター	第２セメスター	第３セメスター	第４セメスター
専門分野に関する科目（11科目22単位以上）			
論文指導（修士論文作成）			

(2) 専門分野に関する科目

自専攻の科目より、７科目（14単位）以上を履修し、自専攻と他専攻合わせて11科目（22単位）以上を履修すること。

(3) 論文指導Ⅰ

指導教授による修士論文指導科目である。原則として第１セメスターより履修するものとし、単位（８単位）は、学位論文審査および最終試験に合格した後、一括認定する。

(4) 論文指導Ⅱ―１・２

論文指導Ⅱ―１・２（選択各２単位）は、当該科目担当者ならびに指導教授の承認の下に、指導教授以外の指導を受けるものである。（修士論文副指導科目）

成績は履修セメスター終了時に（半期）に付与する。

(5) 論文指導Ⅲ－1・2

① **科目概要**

論文指導Ⅲ－1・Ⅲ－2（以下「論文指導Ⅲ」と呼ぶ。）は、指導教授の承認の下に、学生が主体的にキャンパス外において、論文作成に必要な研究・調査活動を行う場合の科目である。

② **履修申請について**

論文指導Ⅲの履修として認めるのに必要な研究・調査活動期間は1ヶ月以上とし、履修計画書を事前に国際協力研究科教務委員会（以下教務委員会という。）に指導教授の承認を得たうえで提出する。

教務委員会では、提出された履修計画に示された活動が、論文指導Ⅲに該当するか否かについて審議する。履修計画書は、研究・調査活動を行う2ヶ月前に提出すること。

③ **単位認定について**

履修計画において、研究・調査活動が1ヶ月以上であり15回以上の活動計画がなされている場合を2単位とし、研究・調査活動が2ヶ月以上であり30回以上の活動計画がなされている場合を4単位とする。成績評価のため、学生は指導教授に対して研究・調査活動等の成果をまとめたレポートを提出しなければならない。

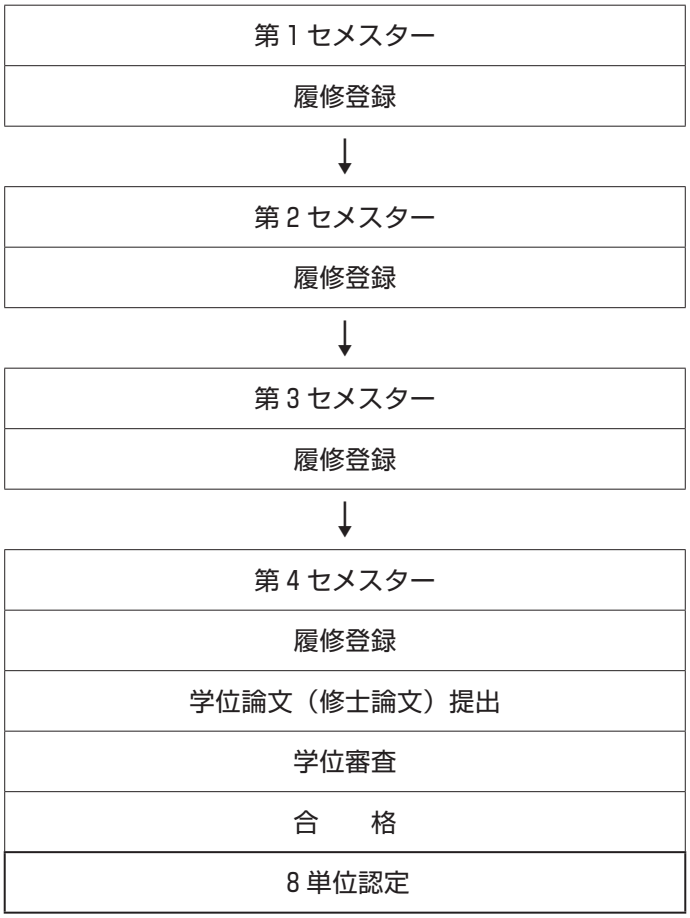
教務委員会では、指導教授から提出された報告書に基づいて審議し、単位認定を決定する。

【論文指導Ⅰの履修について】

◎ 第1セメスターから第4セメスターまで各セメスターで履修登録を行う。

◎ 単位が認定されるのは、学位論文を提出して、学位審査に合格した場合のみ8単位が認定される。
（通常は、第4セメスター修了時）
（注）第1セメスター、第2セメスター、第3セメスターでは、単位の認定は行わない。

論文指導Ⅰの履修方法



5　履修登録

(1) 履修登録とは

履修登録は、学生がそのセメスター（学期）に自分が履修しようとする科目をすべて届け出る手続きである。この手続きがなされていなければ、単位は認定されない。登録は、パソコンからWeb上で行うこと。個人のパソコン及び大学のパソコン室のパソコンからも登録できる。(Web登録については、操作説明書を確認して操作すること。何か不明確なところがあれば教務課に確認すること。)

(2) 履修登録期間

春　学　期	2024年 4 月 5 日(金) 10：00 ～ 4 月12日(金) 23：59
秋　学　期	2024年 9 月17日(火) 10：00 ～ 9 月24日(火) 23：59

(3) 履修申告書・履修計画届の提出について

以下の書類を履修登録期間内に提出すること。

① 履修申告書（指導教授の印が必要）
② 研究指導計画書（学年の最初に提出）
③ 論文題目申請書（修了予定）

上記 3 点の書類を提出期限内に提出すること。

(4) 提出場所・提出期限

提出場所	提　出　期　限
大学院国際協力研究科 教務課（C棟 1 階）	【春学期】 2024年 4 月17日(水) 16：00まで（土曜日は12：00まで） 【秋学期】 2024年10月 2 日(水) 16：00まで（土曜日は12：00まで）

(5) 履修登録の注意点

① 指定の期日に履修登録がなされなかったときは、在学の意思がないものとして扱われる。
② 履修申告・履修登録がなされていない科目は、たとえ受講したり、試験を受けたりしても、採点の対象とならず、単位の認定も行われない。
③ 履修申告・履修登録がなされた後は、原則としてその内容を変更することができない。
④ 同一時限に複数の科目を履修することはできない。
⑤ 既に単位を取得した科目については、たとえ担当教員が異なる場合でも、再度履修することはできない。
⑥ 過去不合格となった科目については、改めて申告・登録し、履修することができる。
⑦ 指導教授の変更を希望する場合は、原則として第 2 ・第 3 セメスターの履修申告期間内のみ変更を受け付ける。なお、指導教授の変更については、変更前、変更後の指導教授の了解を得ることが必要となる。

※⑦については、別の書式が必要になるので、事前に教務課で確認すること。

6　成績評価

杏林大学大学院国際協力研究科では、本学大学院が定める大学の建学の精神に則り、設置する専攻毎にその専攻が掲げる人材の養成その教育研究上の目的を定め、専攻分野に関する専門的な学術の理論及

び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、優れた研究者及び高度専門職業人を養成することにより、文化の進展に寄与することを目的としている。

成績評価についても、社会の信頼に値する評価の実現をめざして、各教員の個別な評価だけに頼ることなく、すべての科目に下記の評価基準をガイドラインとして設定し、これに則り、成績評価を行う。

国際協力研究科における成績評価の方法

＊成績はS、A、B、C、D、Eの 6 段階とする。総合判定を100点とした場合
＊90点以上をS評価とする。
＊80点以上90点未満をA評価とする。
＊70点以上80点未満をB評価とする。
＊60点以上70点未満をC評価とする。
＊60点未満をD評価（不合格）とする。
＊出席不良や試験放棄などのため判定不能のものをE評価とする。
＊上記以外にN評価（認定）とする場合がある。（科目等履修生による単位取得や他大学大学院授業科目受講による単位取得など）
なお、成績証明書には単位を取得した科目の成績のみが表示され、D・Eは表示されない。

7　学位申請

修士論文

1．修士論文の審査を受ける者は、論文の提出に先立って指定された期日までに、修士論文題目　申告書を提出しなければならない。（学事日程を参照のこと）
2．修士論文の審査を受ける者は、上記①の手続きを行った後、指定された期日までに学位申請書および論文 4 部、要旨 5 部、履歴書 5 部を研究科委員会に提出しなければならない。（学事日程を参照のこと）
3．修士論文の審査は、書面審査および最終試験としての口頭試問によって行われる。
書面審査の結果、その内容が不良であると認められるときは、最終試験は行われない。
4．修士論文作成にあたっては、剽窃防止マニュアルを熟読すること。（剽窃防止マニュアルは巻末参照）

8　学位申請　修士論文

①　申請までの確認事項

主科目（自専攻の授業科目）を14単位以上を含んだ22単位以上を取得していること。

↓

論文の申請に先立ち、指定された期日までに、修士論文題目申告書を提出すること。
（12ページ学事日程参照のこと）

↓

申請書類を揃えて、各学期の修士論文期日までに教務課に提出すること。

②　申　　請

以下の書類を大学院国際協力研究科教務課に提出すること。

	書類名	提出部数	
1	学位論文	4部（ファイルにとじて提出、表紙、背表紙が必要）	
2	学位申請書	1部（原本）（修士用）	所定様式（別途配布）
3	学位論文要旨	5部（うち原本1部）※1	
4	履歴書	5部（うち原本1部）※1	
	※1　1部は原紙で、残りの書類はコピーでもかまいません。		

※　書類は丁寧に書くこと。

※　修正液・修正テープは使用禁止。修正する場合は2本線を引き訂正印を押すこと。

③　提出期限

修士論文提出期限：井の頭キャンパス　教務課　2024年6月3日(月)　16：00まで
2024年12月2日(月)　16：00まで

※提出期限、時間を厳守すること。

※表紙を用意するのに時間を要すので（1時間程度はかかります。）
表紙については、あらかじめ作成しておくことが望ましいです。

④　提 出 先

井の頭キャンパス教務課（大学院窓口）

【井の頭キャンパスC棟1F教務課の受付時間】

月曜日～金曜日：9：00～17：15　　土曜日：9：00～13：00

⑤　学位論文の様式については、指導教授の指示を受けてください。

⑥　学位論文のファイルについて

〈1〉市販のファイルを使用してください。

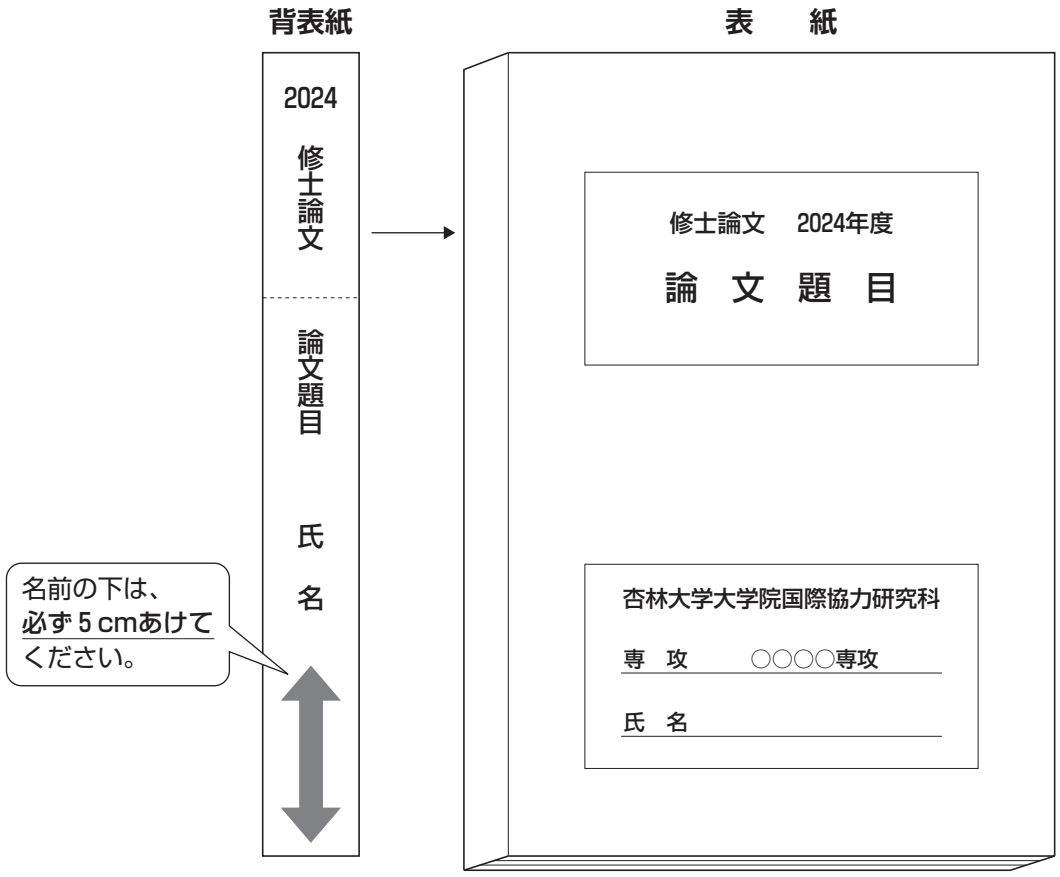
〈2〉表紙、背表紙は、はがれないようにしっかり貼ってください。

〈3〉本学F棟1F売店（丸善）で購入できます（150円程度）。

Ⅰ　修士論文審査項目

1．研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。
2．問題を的確に把握し、その問題点に関する状況を把握し、検証結果を評価する能力を身につけているか。
3．設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。
4．論文の記述（本文、図、表、引用、文献表など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
5．当該研究領域の理論的見地・または実証的見地からみて、独自の価値を有するものとなっているか。
6．外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては、その文献読解や調査研究に必要となる外国語能力が、十分なレベルに達しているか。
7．総じて当該研究領域での修士としての十分な知識を修得しているものと判定できるか。

学位論文製本表紙見本



※ 論文題目・論文提出年度・研究科名・専攻名・氏名を記入してください。

学位論文のファイルについて

① 市販のファイルを使用してください。
② 表紙、背表紙は、はがれないようにしっかり貼ってください。
③ 本学F棟１F売店（丸善）で購入できます（150円程度）。

9　学位審査から学位記授与について

① 修士論文公開発表会
② 最終試験（論文審査・口頭試問）の実施
③ 学位授与者発表（学事日程参照）
④ 学位授与が決まった者は、大学院国際協力研究科保管用として修士論文１部を紙ファイルに綴じ、表紙、背表紙をつけて、大学院国際協力研究科教務課に提出する。
⑤ 学位記授与（３月または９月）

10　修士論文審査基準・審査項目

審査項目は、各専攻、専門分野における教育目的と研究内容に即したものとし、審査において、すべての項目を満たしている場合に合格、そうでない場合に不合格とします。

修士論文審査項目

1．研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。
2．問題を的確に把握し、その問題点に関する状況を把握し、検証結果を評価する能力を身につけているか。
3．設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。
4．論文の記述（本文、図、表、引用、文献表など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
5．当該研究領域の理論的見地・または実証的見地からみて、独自の価値を有するものとなっているか。
6．外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては、その文献読解や調査研究に必要となる外国語能力が、十分なレベルに達しているか。
7．総じて当該研究領域での修士としての十分な知識を修得しているものと判定できるか。

11　修士論文審査方法・審査委員の体制

修士論文の審査は、主査１名、副査２名から構成される審査委員会によって、書面審査および最終試験としての口頭試問によって行われる。書面審査の結果、その内容が不良であると判断されるときは、最終試験は行われない。原則、指導教授は審査委員（主査、副査）になることはできない。

12　学　位

本学において授与する学位の名称は次のとおりとする。

博士前期（修士）課程

国際開発専攻	修士（開発学）
国際医療協力専攻	修士（国際医療協力）
グローバル・コミュニケーション専攻	修士（学術）